

# 入院診療計画書

(エンボス)

診断名: 慢性副鼻腔炎 ・ 鼻中隔彎曲症 ・ 肥厚性鼻炎

症状: \_\_\_\_\_

治療内容: 内視鏡下副鼻腔手術 ・ 鼻中隔矯正術 ・ 下甲介切除術

推定される入院期間: 8日

入院病棟: \_\_\_\_\_

項目	日付	月 日	月 日	月 日		月 日	月 日	月 日- 月 日	月 日
	外来	入院(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術2日目	手術後3-7日目	退院	
達成目標	手術の説明の際、わからないことは質問してください。	→	→	痛みや出血がある時は知らせてください。	→		退院後の生活に何かご不安がありましたらお知らせください。	→	
説明	手術についての説明を行います。同意を頂けたら同意書にご署名をお願いします。	・麻酔科医が麻酔の説明を行います。 ・手術前に手術室の看護師の説明があります。 ・血栓予防のため、ストッキングを履くので、足のサイズを測ります。	・術衣に着替えて点滴を開始します。 ・トイレを済ませ、入れ歯・指輪などのアクセサリ類・時計を手術前に全て外してください。					会計ができ次第、お知らせします。	
手術・処置・検査	採血・胸部X線・心電図・肺機能検査を行います。	手術の時間は____時____分です。			耳鼻科外来にて基本的には、毎日医師の診察があります。(日曜・祝日以外)				
安静		特に制限はありません。外出は主治医の指示が必要となります。	点滴台を押しながら歩行は可能です。	・術後2時間後までベッド上安静です。そのため、トイレはベッド上で行います。 ・2時間後麻酔から醒めていれば、トイレまで歩行できます。	特に制限はありません。				
注射			____時____分に点滴を開始します。	・点滴・酸素マスクをしたままストレッチャーで部屋に戻ります。 ・血圧や体温など全身状態を看護師が随時確認をします。 ・抗生剤の点滴を行います。	抗生剤の点滴を行います。				
食事 特別な栄養管理の必要性なし		夕食までは通常の食事です。消灯時間(22時)より食事・水分はとれません。	朝から食事・水分は禁止です。	手術後2時間に飲み込みを確認後、水分摂取可能となります。	朝食より食事が開始となります。				
内服	普段飲んでいる薬があれば教えてください。	普段飲んでいる内服薬を薬剤師が再度確認しますので入院時に看護師に渡してください。入院中は医師の指示で内服します。	医師の指示にて内服薬を継続または中止します。		内服が開始する際には薬剤師より説明があります。毎食後に痛み止めを内服していただきます。		抗生剤の点滴が終了次第、抗生剤の内服が開始となります。		
清潔		入浴できます。	午前中は歯磨き・洗面などできます。		暖かいタオルで体を拭いて着替えます。		鼻内のガーゼ・スポンジが取れたら、点滴終了後よりシャワーを浴びることができます。	退院後より医師の許可があれば、入浴もできます。	
リハビリ									
その他	手術予定日近くに風邪等を引いた場合は、早めにご相談ください。	・病棟の看護師に手術同意書をお渡し下さい。 ・全身麻酔で行いますので、タバコは控えてください。		鼻は強くかまないようにしてください。血液が口の中に垂れ込めたら、吐き出してください	→	→		退院後の生活について看護師が説明します。	

注1 診断名は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものです。

注2 入院期間は、現時点で予想されるものです。

注3 入院費用に関するご質問は、医事課入院受け窓口にお問い合わせ下さい。

以上説明を受け、理解致しました。

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

担当医(説明医)

看護師名

ご署名(本人・家族)